



## 第69回日本学生科学賞 福岡県審査

**最優秀賞1点 優秀賞1点 努力賞5点受賞!**

数コミは、3年間通した探究活動「課題研究」を実施し、その集大成として毎年全班が5000字以上の科学論文を仕上げ、読売新聞社主催「日本学生科学賞」に応募しています。今年度も、下記の成績を収め、中央予備審査に1点進出することができました。

### 第69回日本学生科学賞 福岡県審査結果

結果	研究テーマ	発表者	分野
<b>最優秀賞</b>	雨水中の $\text{SO}_4^{2-}$ の測定による PM2.5の降水洗浄の評価	徳留 伶、井上 優来 松本 珠歩	化学
<b>優秀賞</b>	光触媒による有機物分解作用の効率化を目指して	加藤 悠資、古高 悠貴 馬場 煌大、山田 真之佑	化学
<b>努力賞</b>	植物の色素の変色を防ぐ研究 ～絵の具として利用するために～	片原 優楽、後藤 美雲 佐賀 心香	化学
<b>努力賞</b>	鯉のぼりの口の大きさと泳ぎ方 ～鯉のぼりの振幅と周期に注目した泳ぎ方の関係～	楠元 颯悟、黒木 愛翔	物理
<b>努力賞</b>	スズメノカタビラの地上部の切断時期の違いによる 切断後の個体再生率と再生後の成長速度について	井浦 敦史、荒牧 めぐみ 井上 実優、小崎 帆乃夏	生物
<b>努力賞</b>	ゼニゴケ(Marchantia polymorpha)の成長速度に対する 外的要因の検証および雌雄の違いに関する研究	白石 寛裕	生物
<b>努力賞</b>	コメの研ぎ汁がアサリの生育に与える影響について	松尾 陽向、久保田 陽那太 木村 志穂、牧野 芹香	生物

最優秀賞



優秀賞



# 九州大学 QFC—SP

## プライマリー21名、リサーチ4名修了！

九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）は傑出した次世代の科学技術人材育成のため、卓越した意欲・能力を有する高校生を対象に、高度かつ実践的な教育を行うプロジェクトです。このプロジェクトに今年度は過去最高人数の数コミ生40名（プライマリー36名、リサーチ4名）が参加し、プライマリー21名、リサーチ4名が修了しました。プライマリー修了生のうちの3名は見事リサーチに合格し、これから約10ヶ月間、九州大学の研究室の一員となって研究を実施します。

## 第73回福岡県統計グラフコンクール

### 入選1点 佳作5点 協力校表彰 受賞！

数コミ1年生が、データの取り扱いやグラフへの表現を学ぶためにチャレンジした「福岡県統計グラフコンクール」において下記の成績を収め、11月25日(火)に福岡県庁で表彰式が行われました。協力校として本校も表彰されました。



部名	入選区分	学年	氏名	作品タイトル
高校生以上	入選	1	三木 春和	臓器提供の意思表示まだしていない?!
の手描き・	佳作	1	中山 廉太郎	日本の落雷について
パソコン統計	佳作	1	野口 美陽	電車の遅延状況
グラフ	佳作	1	石丸 悠羽	日本がドイツに名目 GDP を抜かされた?
	佳作	1	國分 心愛	献血者数を増やす
	佳作	1	平山 昊汰	がん検診に行こう

# 3年生 最後の課題研究

11月19日(水)数コミ3年生の最後の課題研究の授業が行われ、本校の徳永聖一教頭先生が講話されました。教頭先生は、2年前まで本校生物科の教諭として長年数コミ生の指導をされ、現数コミ3年生が1年生の時に生物基礎の授業や課題研究でお世話になりました。



教頭先生が教室に入ってくられると、驚いた生徒たちから歓声が上がりました。教頭先生からは、「数コミでの3年間は どうでしたか？これからもずっと考え続けたり、こだわり続けたりできることを何か見つけて、諦めないで進んでください」とエールが送られました。講話では、AIとの関わりやノーベル賞のテーマ等、日常生活から未来の世界まで広がる科学の可能性や興味



深さを感じるトピックが次々と展開されました。生徒たちが終始生き生きと聞き入っている様子が印象的でした。これからの3年生が、数コミで身に付けた探究力をそれぞれの人生で活かし、科学を楽しみながら、未来の可能性を信じて、科学技術の分野で活躍できる人材にさらに飛躍していくことを期待しています。

